

連合北海道寄附講座 in 室蘭工業大学

1月13日、室蘭工業大学において、「連合北海道寄附講座」がスタートした。

同大は、昨年12月、ブラックバイトの研究会を設置し、ブラック企業・ブラックバイト対策について学ぶことを目的として本講座を企画。講師は齋藤 連合北海道副事務局長。

受講した約100名の学生からは、「ブラックバイトやブラック企業の実態を知ることができ、今後の就活に役立つ内容だった」「求人票やHP上の求人情報を鵜呑みしないように気を付けていきたい」「労働法令に関する知識をもつことが大切だと分かった」等の感想が寄せられた。

【室蘭工業大学 連合北海道寄附講座】

北海道新聞 2016年1月14日

ネット情報過信は禁物

室大 ブラックバイト対策授業

室蘭工業大で13日、過酷な働き方を強いる「ブラックバイト」への対応策を学ぶ授業が開かれ、学生たち

が熱心に耳を傾けた。昨年12月にブラックバイトの研究会を立ち上げた松本ますみ教授ら教員5人



ブラックバイトへの対応策を学んだ室工大の授業

が、実態を知ってもらおうと企画。連合北海道の齋藤 副事務局長を講師に迎え、1年生を中心に学生約100人が出席した。齋藤副事務局長は「労働者を保護し、使用者の責任を定めた労働基準法は、教科書にはほとんど出てこない」と説明し同法の内容をクイズ形式で紹介。

就職活動でも被害に遭わないよう、従業員數十人を募集しながら給料を払っていない実際の「ブラック企業」のホームページを見せ、「ネットでの情報を過信しないように」と呼びかけた。同大は同様の授業を本年度中に、計3回開く予定。(片岡麻衣子)